

2009年度

科目名	日本文学史Ⅲ		
担当教員	横田 隆志		
配当	日文2	コード	13220
開期	前期	講時	月曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	中世文学史を概観する		
目的と概要	中世という時代には、洗練された歌語によって美の極地を目指した『新古今和歌集』のような作品もあれば、自力救済の社会を生きる人々の姿を生々しくとらえた説話や軍記、伝承や絵画作成ともゆかりの深いお伽草子、劇文学である能・狂言など、実にさまざまな文学ジャンルが存在しました。この授業では、そうしたさまざまな文学ジャンルとその背景を理解することで、中世文学に関する基礎的な知識を身につけることを目的とします。		
成績評価法	平常点(50%)・試験(50%) ※平常点は小テストの点数を含みます。小テストは授業進度に応じて適宜実施します。		
テキスト	プリントを配布します。		
参考書	授業のなかで適宜紹介します。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回 『新古今和歌集』の世界 第2回 連歌の世界 第3回 鴨長明と『方丈記』 第4回 兼好法師と『徒然草』 第5回 軍記の世界1『平家物語』 第6回 軍記の世界2『太平記』 第7回 説話の世界1『宇治拾遺物語』 第8回 説話の世界2 無住と『沙石集』 第9回 お伽草子の世界1 第10回 お伽草子の世界2 第11回 説教節の世界 第12回 能・狂言1 第13回 能・狂言2 第14回 中世文学の意義 第15回 まとめ			